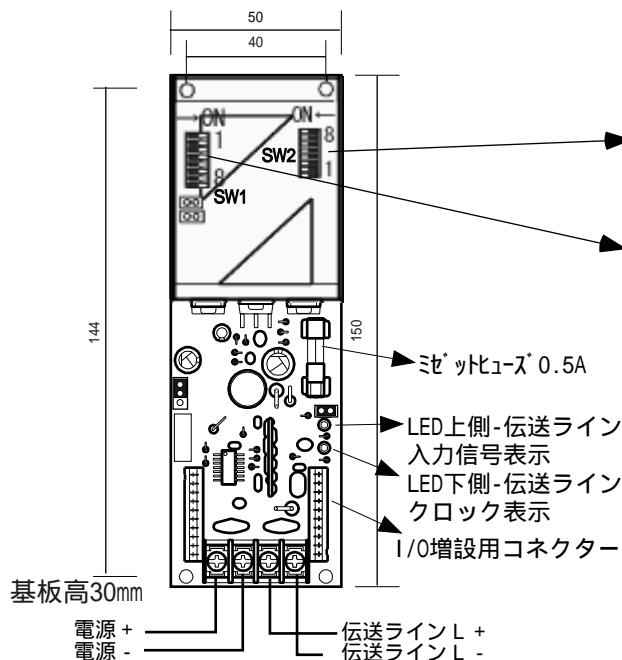


特徴

- ・ユニバーサルラインの基本となる伝送用電源の基板でこれにより電線の伝送化が可能になります。
- ・左側コネクタに232C基板を接続できます。
- ・右側コネクタに入出力基板が合計10枚まで増設できます。



- ON 出力設定SW**
- 設定方法
増設した出力基板の最後のアドレスに合わせる
1 (SW1~8の2進数合計をONする)
- ON 入力設定SW**
- 設定方法
増設した入力基板の先頭のアドレス-1に合わせる
8 (SW1~8の2進数合計をONする)

例
右側に増設する出力基板 (SR8RY) の最終が48の場合
16+32=48 SW.No 5と6をON

例
右側に増設する入力基板 (SR81N) を81から使う場合
81-1=80なので16+64=80
SW.No 5と7をON

アドレス設定

左図のULP03の放熱フィンの下にあるディップSWで設定します。それぞれのSWに下記の2進数が割付けてあります。

SWNo	2進数
1	1
2	2
3	4
4	8
5	16
6	32
7	64
8	128

アドレス
時分割多重伝送の時間的な位置の事で、その位置に接点信号のON/OFF状態が入ります。通常このアドレスは256ありこのアドレス=接点信号のI/O番号となります。

注) 電源側0V及び伝送ライン側L-には接地アースを取らないで下さい。

動作モード

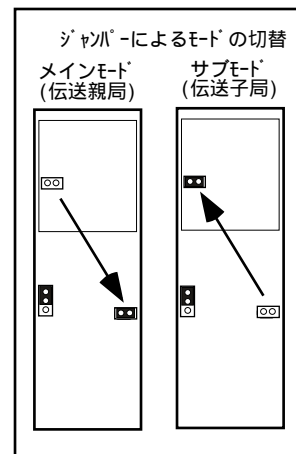
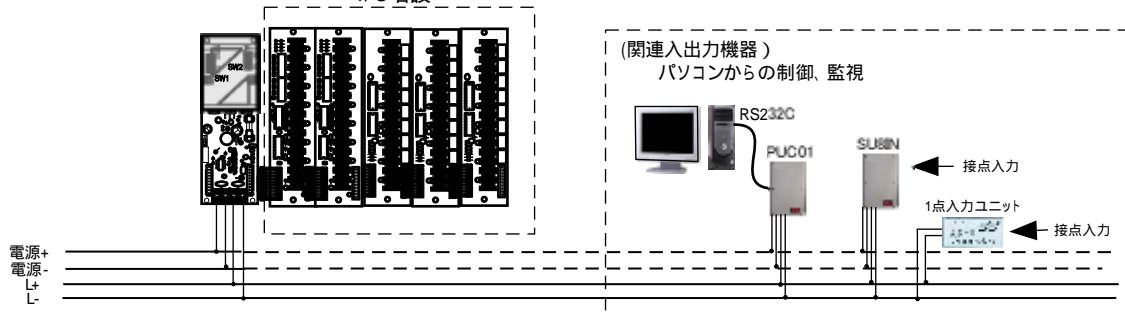
ジャンパー切替で2つのモードがあります。

- ・メイン 伝送加ック出力あり(標準設定)
- ・サブ 伝送加ック出力なし。多点I/Oの伝送I/Fとして使用する場合

(注) メインモードに設定した伝送主基板を、同ライン上に2つ以上接続しないでください。伝送加ックが当たって故障の原因となります。

接続方法

I/O増設



仕様

電源電圧	DC12V/DC24V 兼用
消費電流	400mA (突入電流1A)
クロック周波数	約512Hz
クロック数	256 (128・64・32)
クロック電圧幅	+24V・0V・-10V
伝送遅延	Max0.5秒 (0.25秒、0.125秒、0.7秒)
質量	約60g

クロック設定は出荷時のROM設定となります。